

拳ノ川小学校

『確かな学力を備え、豊かな心を持ち、体力に富み、主体的に活動する拳の子』の育成

校長 南 早百合

◆はじめに

本校は、美しく豊かな自然に恵まれ、優しく温かい地域に支えられながらさまざまな活動を行っています。

児童は、素直で明るく、優しい面をたくさん持っています。休み時間には、みんなで元気に遊びます。

学習にも掃除や作業にも一生懸命取り組んでいます。また、時や場所に応じたあいさつやていねいな言葉遣いができる児童が多いです。その一方で、自分の気持ちをコントロールできず腹を立てたり、相手にきつく当たったりする面もありますので、人の気持ちを考えた言動についてみんなで考えていきます。

◆学校教育目標

「確かな学力を備え、豊かな心を持ち、体力に富み、主体的に活動する拳の子」の育成に取り組んでいます。

自分の夢を持ち、その夢を

かなえるためにこつこつ努力できる子どもたちになってほしいという願いがあります。そして、子どもたちが自分の夢をかなえていくためには、子どもたちの知・徳・体の力をバランスよく育て、自主的・主体的に活動できるように拳の子どもたちを育てていくことをめざします。

◆コミュニティ・スクールとしての取り組み

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)としての指定を受けてから10年目となります。保護者・地域住民が学校運営に参画し、学校・家庭・地域が連働(連結・協働)した教育の実現と、地域に信頼される開かれた学校づくりをめざしています。

○テーマ

信賴される学校づくり
拳ノ川の未来を拓く

子どもを育てる

○研究の課題

児童の課題解決を図り、生きる力を育む

活動する児童の育成

●学校・家庭・地域連働の教育と子育て

○テーマ・研究課題の達成に向けて

「地域・家庭・学校の活性化」

①学校をより地域・家庭に開く

②地域の教育力と人材の活用

③地域住民・保護者の教育活動への参画

④豊かな教育活動の創造

⑤子どもたちとのふれあいや
かかわりあい

⑥二者連働と三者連働の充実
※地域の宝(子ども)をみんな
(学校・家庭・地域)で育てる
視点で、課題を共有し、
課題解決のためにみんなで
取り組んでいく。



「家族で腕まくり」子育て講座1(自然・環境コミュニティの活動のひとつ、「ほっぼこ」づくり)



5・6年生の若山楮学習(学び・文化コミュニティの活動のひとつ)

◆確かな学力Ⅱ知

○校内研修の充実

研究主題を「生き生きと取り組み、ともに学ぶ子どもを育てる」聴くことを大切にしながら表現し合う授業づくりを通して」とし、全教員が授業公開を行います。



3・4年生の算数の研究授業

○学力の定着・向上

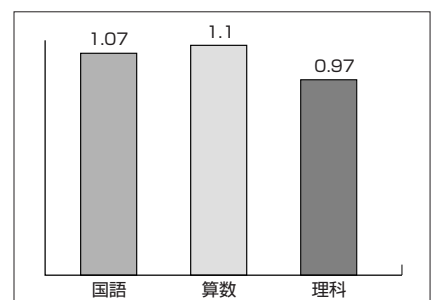
毎日の「基礎学力タイム」や「学習ふりかえりタイム」を行い、基礎基本の定着を図っています。また、自己表現力・発表力を伸ばすために「発表明会」「綴り方集会」などを行っています。友だちの発表を聴いた後、一人ひとりが感想を言います。

○学力調査の活用

下のグラフは2～5年生の今年度の標準学力調査の全国平均正答率の通過率を表したものです。理科については、4～6年生の通過率です。

◆**体力・健康Ⅱ体**
自分の目標を持って朝マラソンに取り組んでいます。休み時間には、家庭や体育館で元気に遊んでいます。また、食育にも取り組んでいます。

平成26年度 標準学力調査結果 (全国を1とする)



学力調査の結果を分析し、課題を明らかにし、課題解決や授業改善に取り組んでいます。

◆豊かな心Ⅱ徳

人権教育・道徳教育を中心に取り組んでいます。また、児童会活動として、全校レクリエーション、あいさつ運動、集団登下校などに取り組む、縦割り班活動として、掃除や草引きなどに取り組んでいます。日々の小さなことに誠実に取り組んでいくことが豊かな心や豊かな感性につながっていくということをみんなで学んでいます。

大方中学校

『自分もみんなも大切に』

校長 島田 義富

◆はじめに

本校は、学級数9組、生徒数160人、教職員数25人で、教育目標に『心豊かで、たくましく、意欲をもって学ぶ生徒の育成』『自分もみんなも大切に』を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。

大方地区は、保護者や地域の方々が、子どもたちのためになることは、積極的に取り組んでいこうとする風土があり、教育活動にも協力的です。より良い子どもたちの成長を強く望んでおり、教育に対して関心が強い地域です。

こうした教育風土のもと、本校でも、生徒一人ひとりが大切にされ、明るくのびのびと過ごせ、それぞれの夢や目標に向かってしっかりと頑張れる学校を目指し、「集団づくり」と「学力向上」を大きな柱として、日々取り組んでいます。その中のいくつかの取り組みを紹介します。

◆2つの指定事業

①学力向上推進校事業

『確かな学力の育成』という目標を掲げ、今年度はこの指定事業に取り組んでいます。ただ、本校の現在の学力の状況は左記の表のようになっており、厳しい状況があります。学力の基本となるのは、日々の授業と家庭学習だと考えています。5教科の授業では授業の初めに5分程度の形成テストを導入し、学力の定着を図るようにしています。家庭学習では形成テストの内容をつなげることができるようになり、さらに形成テストの内容が単元や期末テストに反映されることで、学力向上が図られるようにしています。

②ことばの力育成プロジェクト事業

昨年度から3年間の県の指定を受け『ことばの力の育成』を目指し、取り組みを続けています。具体的には、学校図書館や図書を活用した授業や、新聞を活用した学習活動などを5教科を中心に取り入れることによって、思考力・判断力・表現力の向上を目指すことになっていきます。

こうした取り組みの継続が、国語のB問題(活用する力を問う)の学力向上にもつながっています。さらに税の作文コンクールや県朗読コンクールでの優秀な表彰を昨年度受けたことも、こうした取り組みの成果であると思います。

また、生徒自身が読みたい本を、実際に手に取って選ぶことができる「選書会」を毎年行っています。自分たちが選んだ興味のある新しい本が、学校図書館にはあるという意識変化によって、貸出数や利用者数が増加し、読書活動の充実が図られてきています。



毎年好評の「選書会」

◆生徒会・元気会の活動

本校の生徒会は、目標である『One for All All for One』ひとはみんなのために、みんなはひとりのために』を達成するために、生徒会執行部が中心となって、常にさまざまな企画・立案をし、取り組んでくれています。4月の対面式の場での決意表明に始まり、毎朝の「あいさつ運動」、授業への取り組みアップを狙った「1分前行動」などなど、自分たちの学校を良くするために頑張っています。

また、有志によるボランティア活動を行う「元気会」へも、50人の生徒が会員として加入し、さまざまな活動をしてくれています。今年度最初の取り組みは、中庭の草引きでした。今後、砂浜清掃、衛生食品検査、誠心園まつりの手伝い、小学校への学習支援など、自主的な活動で地域への貢献ができるようになると、メンバーのみんなが今から意欲満々です。



「元気会」の草引き活動

◆部活動

今年度の部活動は、「元気なあいさつ・大きな返事・人の話をしっかりと聴く」など、それぞれの競技を行う上で当たり前に大切なことを全体で確認し、3年生を中心に活動を行っています。地域の方からは、『今年は、グラウンドや体育館からの練習の声や吹奏楽部の楽器の音が本当によく聞こえてくる』という声が学校に届けられています。先日の県総体幡多地区予選会でも、サッカー部、剣道部女子団体・男女個人が優勝、バレー部が準優勝するなど、すばらしい結果を出しました。今後行われる県総体、四国総体、そして高知県をはじめとして四国地区で開催される全国総体へも夢が大きく膨らむ状況です。

また、唯一の文化部の吹奏楽部も、「ピオスおおがた10周年記念演奏」をはじめ、保育所や誠心園での訪問演奏、町や郡・県の音楽祭、そして定期演奏会まで楽しみな活動が続いていきます。



7年ぶり優勝のサッカー部

平成26年度 標準学力調査結果

(全国を1とする)

	国語	数学	英語	理科	社会
1年	1.08	1.07		1.00	0.93
2年	0.92	0.95	0.72	0.84	0.77
3年			0.91	0.95	0.87